

ミソサザイ通信



甲賀市立甲南第三小学校
4 学年 学年通信
2024. 11. 20



校外学習に行ってきました



先日 11 月 15 日、甲南第二小学校と合同で、近江八幡市の沖島と、(株)カワサキさんの工場へ校外学習に行ってきました。どちらの目的地でも貴重な学びができました。これから、まとめをしっかりと行い、今後の学習にもつなげていきたいと思います。保護者の皆様には前日の準備や早朝よりの送り等、ご協力ありがとうございました。



児童のふり返り

★沖島で漁業組合長さんのお話を聞いて、今のびわ湖は、何十年か前から赤しおが起きたり外来魚がやってきたりして、元いた魚がすごくへり、それを取りもどそうと今も戦っておられるということが心に残りました。

★カワサキさんの工場で、水にうく木としずむ木があることを実験したり、昔の道具で木の玉をけずる体験をしたりしたことが心に残りました。特に、暑い国の木がしずむということがびっくりしました。

★沖島で、昔は沖島には 800 人ぐらい人がおられたけど、今ではびわ湖でとれる魚がへって仕事が少なくなったせいで 200 人ぐらいになったと聞きました。私は自分もびわ湖をよごさないようにしたいし、魚がもどってほしいと思いました。

★沖島は車がなくて、自転車がたくさんありました。漁師さんは朝早くから漁に出ているため、お昼はねておられるそうです。だからか、町はとても静かであまり人のすがたを見かけませんでした。家や建物はぎゅっと集まっている感じでした。

★カワサキさんの工場では、いろんな木を見せていただきました。日本の木は色がうすくて、暑い国の木は色がこいものが多いと思いました。きれいな木の玉をたくさん作っておられる作業がとてもいねいで感心しました。いただいた木のお守りを大事にしてこれからも勉強をがんばりたいです。

★沖島の町はとても小さかったし、小学校の人は第三より少ない 17 人しかいないからおどろきました。宮地区とちがって自転車の後ろにかごみたいなものがついていて、いろんなものが積めるのがすごいと思いました。

★60 年前くらいは、びわ湖にたくさん肉眼で見えるくらいたくさんの魚(ざい来魚)がいたのに、今はすごく少なくなって肉眼ではほとんど見えないようになってしまったから、漁師さんたちは、びわ湖の自然をとりもどそうとがんばっておられると聞きました。だから、ぼくも、魚や自然を大事にして生活していきたいと思いました。

